

成果指標に係る審議会意見のまとめ
(第7回審議会意見及び第8回事前提出意見)

※丸数字は事前提出意見

【基本計画 第4章・成果指標】

| No | 委員 | 内 容 | 審議結果・会長修正案等 |
|----|----|---|---|
| 1 | 森岡 | 1-(4)「シルバー人材センターの就業率」(32頁) みんながいきいき働き、豊かに暮らせるまちという基本方向の成果指標として適切か。シルバー人材センターでなくてもよい。 | [原文のまま] 取組の内容②「地域の雇用機会を増やし、就職困難者の就労を支援します」に対応するもので、高齢者の就労支援の成果をはかる指標として適切と考える。 |
| 2 | 神田 | 1-(4)「消費生活苦情相談の解決率」(32頁) 相手のある話なので、100%解決するのは難しいのではないか。目標値を99%くらいにするなど工夫がいると思う。 | [修正] ご指摘のとおり、目標値を99%に修正。 |
| 3 | 川上 | 2-(3)「学校教育自己診断の実施率」(42頁) 学校教育自己診断を毎年実施することが効果的なのか疑問に思う。 | [原文のまま] 現在の調査項目や実施方法について、より効果的なものになるよう検討を加えながら進めていくことによって、保護者や地域住民のニーズをどれだけ把握し、反映しているかをはかる指標として適切と考える。 |
| 4 | 田代 | 3-(2)「長期優良住宅の認定戸数」(53頁) 4-(2)住まい・まちなみ景観の分野には適切だが、3-(2)には合っていないと思う。1つの指標を複数箇所に設定するより、最適な所に設定する方がよい。 | [修正] 3-(2)の取組の内容②の成果指標でもあり、また4-(2)の指標でもあるので、4-(2)の成果指標を「長期優良住宅の認定戸数(再掲)」とする。 |

| No | 委員 | 内 容 | 審議結果・会長修正案等 |
|----|----|---|--|
| 5 | 神田 | <p>4-(1)「山なみ景観保全地区内で所有者が山麓保全に同意し市が指定した『自然緑地』の面積率」(59頁)</p> <p>山なみ景観保全地区の中で、協力・同意するという地権者の割合を示すということだと思うが、いろいろな言葉を使っているため、非常にわかりにくい。</p> | <p>[修正]</p> <p>「山なみ景観保全地区のうち、自然緑地の指定に同意が得られた面積の割合」に修正。</p> |
| 6 | 藪口 | <p>4-(5)「住んでみたい街ランキング」「住みよさランキング」(70頁)</p> <p>住んでみたい街ランキングは関西における順位で、住みよさランキングは全国における順位ということが分かるように、タイトルを修正した方がよい。</p> | <p>[修正]</p> <p>「住んでみたい街ランキング(関西圏)」および「住みよさランキング(全国)」に修正。</p> |
| 7 | 植山 | <p>5-(1)「地縁団体の組織率」(73頁)</p> <p>地域コミュニティは、地縁団体、NPOなどいろいろな組織で形成されているので、その指標が地縁団体だけの組織率では、指標として意味がない。</p> | <p>[修正]</p> <p>指標名を「地縁団体の世帯加入率」に修正。</p> <p>コミュニティ形成のためには、特に地縁団体への参加が重要であり、分譲マンション管理組合の果たす役割も重要であるとの認識から。</p> |
| 8 | 黒田 | <p>5-(1)「シニア・ナビを通じて地域活動等に紹介した件数」(73頁)</p> <p>シニア・ナビの説明がないので、取組の内容に追記してほしい。</p> | <p>[修正]</p> <p>5-(2)3. 取組の内容①に下記のとおり追加。(75頁)</p> <p>「…団塊の世代を中心とした人たちに地域活動を紹介するシニア・ナビの設置など相談窓口を充実するとともに、…」</p> |
| 9 | 須貝 | <p>シニア・ナビと、市民活動センターや国際交流協会のように、ボランティアを抱える民間のネットワークとの連携も記載した方が具体的なイメージがわくのではないか。</p> | <p>4. 各主体の主な役割の【行政】に下記のとおり追加。</p> <p>「シニア・ナビを通じて、団塊の世代を中心とした人たちに、地域団体や市民活動センター、国際交流協会などのネットワークと連携しながらさまざまな地域活動を紹介し、新たな地域の担い手を増やします。」</p> |

| No | 委員 | 内 容 | 審議結果・会長修正案等 |
|----|----|---|--|
| 10 | 川端 | <p>5-(1)(73頁)</p> <p>小学校単位で地域の問題を考える仕組みをつくるという取組に対する指標を設定してはどうか。</p> | <p>[原文のまま]</p> <p>小学校区程度の地域を単位として、地域の課題を解決していく仕組みの中で、住民間の調整をしながら地域をコーディネートする人材養成の指標として、「シニア・ナビ紹介件数」を指標としている。</p> |
| 11 | 神田 | <p>5-(3)「経常収支比率」 設定の考え方(79頁)</p> <p>「経常収支比率は、通常 70～80%が適当とされている」という表現を削除するか、かつてはそうだったと修正した方がよい。</p> | <p>[修正]</p> <p>「通常 70～80%が適当とされているが、…非常に厳しいと考えられる。そのため」を削除。</p> |

※以下は、前回の意見で引き続き議論が必要な項目及び提案された代替案に対する修正案等

| No | 委員 | 内 容 | 要協議事項・会長修正案等 | | | | | | |
|-------|--------|---|---|-----|--------|--------|-------|-----|------|
| 12 | 山野 | <p>2-(3)「中学校1年生の不登校出現率」(42頁)</p> <p>支援人材の連携率や利用率など、行政の支援側の指標を設定することはできるのではないか。</p> | <p>[修正案]</p> <p>「習熟度別少人数指導実施率」</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値</th> <th>H27目標値</th> <th>H32目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>65.6%</td> <td>88%</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※支援人材の利用率などを出すことはできるが、利用率が高いことが一概に望ましいことではなく、指標には馴染みにくい。</p> | 現状値 | H27目標値 | H32目標値 | 65.6% | 88% | 100% |
| 現状値 | H27目標値 | H32目標値 | | | | | | | |
| 65.6% | 88% | 100% | | | | | | | |
| 13 | 山内 | <p>全体的に成果指標の数が多すぎるのではないか。目標に対していくつかの成果指標がなければいけないという前提で作られていて、無理をしているように思う。特に、客観的な保育所の待機児童数を指標に取るのと満足度では意味が違うのに、同じ次元で表しているから違和感があるのではないか。満足度関係の指標は別立てにして、目標値という言い方にしない方がよい。</p> | <p>[修正]</p> <p>指標の数は、今後総合計画の達成度の評価・検証に利用するため、原則1つの取組に対して1つ以上の指標を設定しているが、ご意見の趣旨を踏まえて、成果指標については、第4章分野別計画の冒頭で、設定の考え方を示した(18頁)。</p> | | | | | | |
| ⑭ | 河田 | <p>一律的に市が市民に対してこうあるべきだというような指標は不適切である。相手の市民の感情によって数字が変わってくる指標は、そう思わない人たちもいるということを考えて、できるだけ設定しない方がよい。市民がどう感じるかということは市民に任せるべきで、指標にするのであればコンセンサスが必要だと思う。</p> <p>全体として、主役度に市民が大きく関係する項目はすべて削除するのが良いと思う。</p> <p>また、一律に過半数あるいは80%の人が同じ活動や同じ考え方を持つように指導する成果指標の項目は削除するべきで、あくまで市役所が行うことの目標値に限るべきと考えるので、代替案を提出する。</p> | <p>代替案10項目に対して、同趣旨の既存データがある項目については、修正案を示した。</p> <p>なお、資料5・6(基本計画修正案)には未反映。</p> | | | | | | |

| No | 委員 | 内 容 | 要協議事項・会長修正案等 | | | | | | |
|-------|--------|---|---|-----|--------|--------|-------|-----|------|
| | | <p>1-(1)「自分が健康であると感じる市民の割合」(22頁)</p> <p>誰も好んで不健康(病気)になっている訳ではない。また、「健康であると感じる」かどうかは個人の感性に関わることで、行政が指導することではない。</p> <p>【改定案】市民の健康を維持・向上させる活動を市が取り組んでいると認識している市民の割合</p> | <p>[修正案]</p> <p>「健康づくりと地域医療に係る市の取組について評価している市民の割合」</p> <p>(H20 次期箕面市総合計画策定のための市民意識調査・問22)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値</th> <th>H27目標値</th> <th>H32目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>22.7%</td> <td>27%</td> <td>30%</td> </tr> </tbody> </table> | 現状値 | H27目標値 | H32目標値 | 22.7% | 27% | 30% |
| 現状値 | H27目標値 | H32目標値 | | | | | | | |
| 22.7% | 27% | 30% | | | | | | | |
| | | <p>2-(1)「人権は非常に大切なことだと認識している市民の割合」(35頁)</p> <p>人権が大切でないと認識している人がいることを前提にした目標値設定であり、市の計画には馴染まない。</p> <p>【改定案】市が人権養護活動に十分取り組んでいると評価している市民の割合</p> | <p>[修正案]</p> <p>「箕面市は人権が尊重されているまちだと思える市民の割合」</p> <p>(H21 市民満足度アンケート・問11)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値</th> <th>H27目標値</th> <th>H32目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>55.2%</td> <td>58%</td> <td>60%</td> </tr> </tbody> </table> | 現状値 | H27目標値 | H32目標値 | 55.2% | 58% | 60% |
| 現状値 | H27目標値 | H32目標値 | | | | | | | |
| 55.2% | 58% | 60% | | | | | | | |
| | | <p>2-(3)「中学校1年生の不登校出現率」(42頁)</p> <p>どの子供達もそのご両親も好んで不登校児童になっているわけではない。不登校は、それぞれに個別の複雑な事情があって発生するものである。なお、この内容は基本計画の本文には全くない。人の心や健康に関わる問題は、数値目標を掲げるべきではないと考える。</p> <p>【改定案】不登校中学生に対して市が十分なケア活動をしていると評価している市民の割合</p> | <p>[修正案]</p> <p>改定案については、既存データがないため、習熟度別少人数指導実施率を用いる。</p> <p>「習熟度別少人数指導実施率」</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値</th> <th>H27目標値</th> <th>H32目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>65.6%</td> <td>88%</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table> | 現状値 | H27目標値 | H32目標値 | 65.6% | 88% | 100% |
| 現状値 | H27目標値 | H32目標値 | | | | | | | |
| 65.6% | 88% | 100% | | | | | | | |

| No | 委員 | 内 容 | 要協議事項・会長修正案等 | | | | | | |
|-------|--------|--|---|-----|--------|--------|-------|-----|-----|
| | | <p>2-(3)「箕面市学力・学習状況調査結果」、 「箕面市体力・運動能力、運動習慣等調査結果」(42頁)</p> <p>体力・運動能力に恵まれない人たちなど、 そのような調査を好まない市民もいる。</p> <p>【改定案】ご検討下さい。</p> | <p>[修正案]</p> <p>ご指摘の2つの指標を削除し、 「学校教育の充実に係る市の取組について評価している市民の割合」を新たに指標とする。</p> <p>(H21 市民満足度アンケート・問1)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値</th> <th>H27目標値</th> <th>H32目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>21.6%</td> <td>26%</td> <td>30%</td> </tr> </tbody> </table> | 現状値 | H27目標値 | H32目標値 | 21.6% | 26% | 30% |
| 現状値 | H27目標値 | H32目標値 | | | | | | | |
| 21.6% | 26% | 30% | | | | | | | |
| | | <p>3-(1)「積極的にごみ減量・資源化に取り組んでいる市民の割合」(49頁)</p> <p>前頁と同じ理由で不要と考える。市民に求めることを市の総合計画に数値目標として書くのではなく、市役所が行うことの数値目標だけに限るべきである。</p> <p>【改定案】ゴミ減量・資源化に取り組む市民を積極的に市が支援していると評価している市民の割合</p> | <p>[修正案]</p> <p>「ごみにしない・ごみを減らす、リサイクル・再資源化を進める市の取組について評価している市民の割合」</p> <p>(H21 市民満足度アンケート・問1)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値</th> <th>H27目標値</th> <th>H32目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>34.5%</td> <td>38%</td> <td>40%</td> </tr> </tbody> </table> | 現状値 | H27目標値 | H32目標値 | 34.5% | 38% | 40% |
| 現状値 | H27目標値 | H32目標値 | | | | | | | |
| 34.5% | 38% | 40% | | | | | | | |
| | | <p>3-(3)「自家用車の利用率」、「徒歩・自転車で移動する人の割合」(56頁)</p> <p>障害者や仕事に自家用車が必要な人もいる。市民それぞれに任せるべき。</p> <p>【改定案】徒歩や自転車で安全に移動しやすいまちづくりができていると評価している市民の割合。</p> <p>障害者が自動車で移動や駐車しやすいまちづくりができていると評価している市民の割合。</p> | <p>[原文のまま]</p> <p>「自家用車の利用率」が下がるということは、公共交通の利便性が向上し、利用が促進されたことを表しており、「徒歩・自転車で移動する人の割合」が上がるということは、安全で快適な移動のために、道路や駐輪場が整備されたことを表している。</p> <p>いずれも自家用車が必要な人に対して利用を規制するようなものではなく、取組を評価するのに適切な指標であると考えます。</p> | | | | | | |

| No | 委員 | 内 容 | 要協議事項・会長修正案等 | | | | | | |
|-------|--------|--|--|-----|--------|--------|-------|-----|-----|
| | | <p>4-(1)「山なみのみどりに対する満足度」(59頁)</p> <p>山なみのみどりに対する感性は、個人によって違ってよいと考える。面積率などは指標として適当だと思う。</p> <p>【改定案】山なみのみどりの保全に市が十分に取り組んでいると評価している市民の割合</p> | <p>[修正案]</p> <p>「豊かな自然環境の保全に係る市の取組について評価している市民の割合」</p> <p>(H20 次期箕面市総合計画策定のための市民意識調査・問 22)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値</th> <th>H27目標値</th> <th>H32目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>16.7%</td> <td>25%</td> <td>30%</td> </tr> </tbody> </table> | 現状値 | H27目標値 | H32目標値 | 16.7% | 25% | 30% |
| 現状値 | H27目標値 | H32目標値 | | | | | | | |
| 16.7% | 25% | 30% | | | | | | | |
| | | <p>4-(2)「まちなみの美しさに対する満足度」(63頁)</p> <p>上記と同様、市民の満足度は市民が決めるものであって、市の総合計画で数値化することは良くない。</p> <p>【改定案】まちなみの美しさの保全に市が十分取り組んでいると評価している市民の割合</p> | <p>[修正案]</p> <p>「美しい景観形成に係る市の取組について評価している市民の割合」</p> <p>(H20 次期箕面市総合計画策定のための市民意識調査・問 22)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値</th> <th>H27目標値</th> <th>H32目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>18.0%</td> <td>22%</td> <td>25%</td> </tr> </tbody> </table> | 現状値 | H27目標値 | H32目標値 | 18.0% | 22% | 25% |
| 現状値 | H27目標値 | H32目標値 | | | | | | | |
| 18.0% | 22% | 25% | | | | | | | |
| | | <p>4-(3)「郷土資料館企画展の来場者数」、「文化イベントの数」(65頁)</p> <p>このような数字による目標設定は、その目標達成のために市民がかり出されるおそれがある。他にも市民の参加の数値目標はすべて好ましくない。</p> <p>【改定案】企画展や文化イベントに市が十分取り組んでいると評価している市民の割合</p> | <p>[原文のまま]</p> <p>「郷土資料館企画展の来場者数」は、文化財や歴史資料を多くの市民に紹介する役割を担っている市の取組の結果を、「文化イベントの数」は、市民の自主的な活動の広がりを表す指標として設定している。</p> | | | | | | |

| No | 委員 | 内 容 | 要協議事項・会長修正案等 |
|----|----|--|--|
| | | <p>4-(5)「これからも箕面市に住みたいと思っている市民の割合」(70頁)</p> <p>箕面で学んだ後に他の都市で働きたいと思う学生、転勤で同じ町に住み続けることを考えられない人など、多様な考え方を持つ人が住んでもよい。本文にはこのようなメッセージは全くなく、成果指標が本文と異なっている。</p> <p>【改定案】箕面市民以外からの住んでみたい町のランキングのみでよい。</p> | <p>[修正案]</p> <p>ご指摘の指標を削除し、「住んでみたい街ランキング（関西圏）」、「住みよさランキング（全国）」とする。</p> |